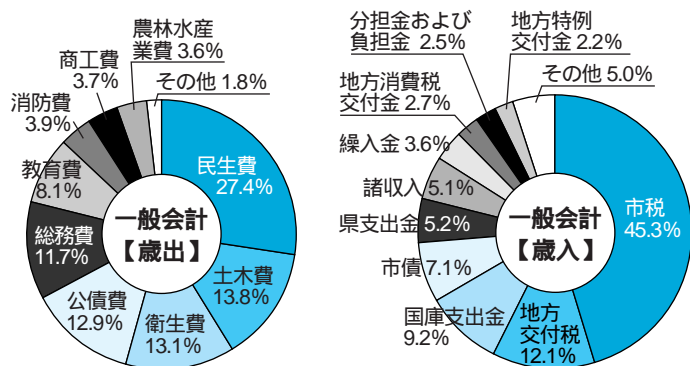


平成17年度 目で見える主な事業(案)



予算をグラフで見ると...

歳入は、市税が45・3%と大きな割合を占め、本市にとって最も大切な収入源であることがわかります。市税、分担金及び負担金など市が自主的に収入しうる財源を自主財源といい、本市は58・6%を占めています。一方、国や県から交付される地方交付税、国・県支出金などを依存財源といいます。歳入は、児童福祉や高齢者福祉など福祉関係の予算を計上している民生費が27・4%と最も大きな割合を占め、次いで、道路や河川、公園といった主に建設事業を計上している土木費が13・8%となっています。また、借金の返済にあたる公債費は12・9%を占め、年々減少傾向にあります。

市の予算はこうして作られます

新年度に入って市の新しい予算がスタートします。予算とは、向こう1年間、市がさまざまな事業や業務を行っていくうえで必要となる金額を表したものです。

しかし、多くの市民の皆さんにとって、予算がどのように作られていくのか、あまり知られていないのではないのでしょうか。そこで、今回はこうした予算の流れについて、市民の皆さんにお知らせします。

予算編成の流れ

